

News Release

2020年10月16日

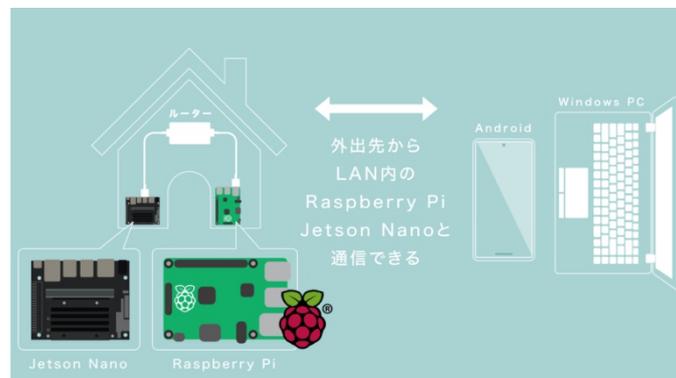
報道関係者 各位

プラネックスコミュニケーションズ株式会社
東京都目黒区中根1丁目24番13号
文書番号：G-CD-2020-1016-001

自宅にあるドキュメント・写真・音楽・映像に外出先からアクセス 遠隔地の室温を計測してエアコンをオン、他の家電もコントロール可能 ラズパイ・Jetsonを遠隔操作できる「Cloud Pi 2」新発売 & 法人向けP2Pサービス「Planex P2P Platform」の提供も開始

プラネックスコミュニケーションズ株式会社（以下、プラネックス）は、自宅、企業、学校などのローカルエリアネットワーク内に設置したシングルボードコンピュータ「Raspberry Pi」「Jetson Nano (NVIDIA)」に外出先からスマートフォンやPCでリモートアクセスし、様々な操作を可能にするP2Pプラットフォーム「Cloud Pi 2 (クラウドパイ2)」を発売します。価格はオープンプライス、10月16日より販売を開始します。

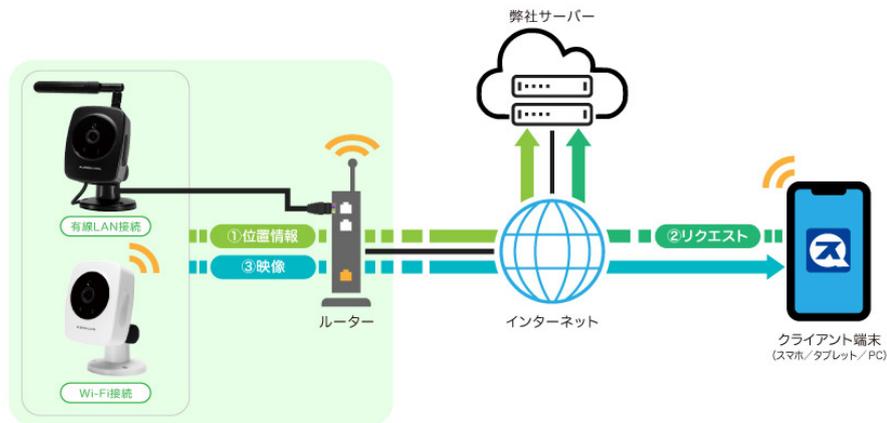
あわせて法人向けに遠隔地に設置した自社デバイスのリモートアクセスを可能にする「Planex P2P Platform」のサービス提供を開始します。



■実績あるネットワークカメラのP2Pプラットフォーム

プラネックスのかんたんネットワークカメラ「スマカメ」シリーズは累計20万台を超える販売実績のあるネットワークカメラです。自宅に設置したカメラの映像を外出先からスマートフォンで見たり、遠隔地に設置したカメラの映像監視・確認などが容易にできます。離れた場所に設置したネットワークカメラとスマートフォン・PCとをインターネット回線を利用して接続するため、1台1台のカメラにユニークID (UID) を設定し、ルーターの難しい設定をすることなく映像の確認やカメラの設定・操作を可能としています。

図のようにスマカメはUIDを利用して、サーバーにインターネット上の位置情報を知らせます。ユーザーがスマートフォンなどで映像をリクエストすると、サーバーを介してUIDで特定したスマカメから映像を受け取ることができます。設定変更や操作をすることも可能です。



ネットワークカメラとスマートフォンをつなぐ仕組みの概念図

この仕組みを利用して、遠隔地のローカルエリアネットワーク内の「Raspberry Pi」「Jetson Nano」を操作することが可能となります。

■ 「Cloud Pi 2」との組み合わせで可能性が広がる

「Raspberry Pi」、「Jetson Nano」はシングルボードコンピュータとして多くのシーンで利用されています。特に「Raspberry Pi」は2019年時点で累計3000万台を超える実績があり、自作IoT、工業機器の制御、プログラミング学習など、自宅、企業、学校で様々な利用事例が紹介されています。

自宅を例にあげると、環境センサーやストレージ、赤外線ユニットと「Raspberry Pi」を組み合わせることで、温度・湿度などの計測、音楽や映像の撮影・再生、サーバーの構築、赤外線リモコンを利用して家電の音声操作など可能性は無限と言えます。

「Cloud Pi 2」を組み合わせることで利用シーンはさらに広がります。例えば、

- ・ 親の熱中症対策として、離れた実家の温度を確認してエアコンをオンにする
- ・ 自宅のHDDに保存されたドキュメントファイルを確認する
- ・ スマホに入りきれない写真、動画、音楽を、外出先から自宅のHDDにアクセスして閲覧・再生

と「Cloud Pi 2」による遠隔操作との組み合わせで、可能性はさらに広がります。企業ではIoT製品の試作などにも利用できます。

◇ □□「Cloud Pi 2」の製品仕様□□

製品型番	CLOUDPI2
Cloud Pi 2 ソフトウェア構成	
サーバーモジュール	対応 OS: Raspbian 10(buster)、NVIDIA Jetson Nano 開発キット 対応ハードウェア: Raspberry Pi 3、Raspberry Pi 4 B、Jetson Nano
クライアントモジュール	Android(4.4 以上) Windows (7 以降) ※iOS、Mac OS には対応していません

※macOS は、米国および他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

※Windows(R)は、米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。

■法人向けに「Planex P2P Platform」のサービスを提供

「Planex P2P Platform」はスマカメシリーズ、「Cloud Pi 2」と同じ P2P プラットフォームを法人向けに提供するサービスです。自社のデバイスにユニーク ID を設定し、弊社のサーバーを利用してインターネット上の位置情報を特定し、ローカルエリアネットワーク内に設置したデバイスを制御することが可能となります。

「Planex P2P Platform」を利用すれば、様々な IoT デバイスを開発・販売する際、自社でサーバー構築・運営をすることなく、安心・安全な国内サーバーで運用することができます。開発リソースをデバイスに集中することで、短時間で市場への製品投入が可能となります。

「Planex P2P Platform」導入に関する詳細は、下記までお問い合わせください。

「Planex P2P Platform」 お問い合わせ先

03-6809-0156
ti_us@planex.co.jp